

第 6 号議案

容量市場メインオークション検証レポート（対象実需給年度：2025 年度）の
公表について
（案）

「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 第三次中間とりまとめ」（2020 年 7 月）のとおり、本機関は、毎年、容量市場の市場競争の状況について取り纏め、検証レポートとして公表することとしている。

2021 年度実施の容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025 年度）について、約定結果の公表時に公表した項目を含め、検証レポートを取り纏めたので、本機関ウェブサイトにて公表する。

〈参考 電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 第三次中間とりまとめ抜粋〉

（応札結果の検証）

容量オークション結果の検証結果については、広域機関において、毎年、容量市場の市場競争の状況についての検証レポートを公表する。

以 上

別紙 1：容量市場メインオークション検証レポート（対象実需給年度：2025 年度）

別紙 2：容量市場メインオークション検証レポート数値データ（対象実需給年度：2025 年度）

別紙 3：WEB サイト公表文「容量市場メインオークション検証レポート（対象実需給年度：2025 年度）の公表について」

容量市場メインオークション 検証レポート

(対象実需給年度：2025年度)

2022年3月23日

電力広域的運営推進機関

目次

1. はじめに	2
2. 検証レポートについて	2
3. 約定結果	3
4. オークション結果の集計	6
(1) 供給信頼度	7
(2) 電源等の応札容量	9
(3) 応札容量と落札容量（落札率）	11
(4) 発電方式別の応札容量	13
(5) 落札されなかった電源の応札容量	15
(6) 応札価格の加重平均	16
(7) 応札価格の分布	18
(8) 応札価格一定額以上の応札容量	19
(9) 需要曲線と供給曲線	20
(10) 期待容量と応札容量の関係	21
(11) 卒FIT電源の期待容量と変動電源（アグリゲート）の応札量について	23
(12) 調整機能あり電源の約定容量	23
(13) 落札電源一覧	23
(14) 一般送配電事業者・小売電気事業者が負担する容量拠出金（試算）	24
(参考) 市場支配力の行使等の分析	24
5. シナリオ分析	25
(1) 全国の約定処理における価格	25
(2) 需給に対する分析	26
(3) 石炭とバイオマスの混焼を行うFIT電源の供給力を応札後にFIT電源等の期待容量に織り込まなかった場合の分析	26
(4) 発動指令電源の調達上限を設定しなかった場合の分析	26
6. オークション結果の推移	27
(1) オークション結果の推移	27
(2) メインオークション、追加オークションの想定需要、目標調達量の推移	29
(3) 応札容量の前年度からの推移	29
(4) 地域間連系線の運用容量等の推移	31

1. はじめに

電力広域的運営推進機関（以下「本機関」という。）は、業務規程 32 条の 18 およびメインオークション募集要綱に定めるところにより、容量市場メインオークション約定結果（対象実需給年度：2025 年度）を 2022 年 1 月 19 日に公表した。（2021 年 12 月 22 日に公表した結果について、「容量確保契約金額の算出に関する経過措置における控除額」の算定のうち、「電源等の経過年数に応じた控除額係数」の端数処理に誤りがあることが判明し、容量確保契約金額を訂正する必要が生じたため、2022 年 1 月 19 日に再公表を行った。）

また、「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 第三次中間とりまとめ」（2020 年 7 月）のとおり、本機関は、毎年、容量市場の市場競争の状況について取り纏め、検証レポートとして公表することとしている。

2. 検証レポートについて

容量オークション結果の検証では、容量市場が効果的に機能しているかどうかを定期的に検証するため、「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 第二次中間とりまとめ」（2019 年 7 月）において、オークション結果の集計等について分析・検証を行うことが示された。

詳細な検証項目・公表内容については、本機関の「容量市場の在り方等に関する検討会」において整理¹した。

今年度の検証レポートについては、約定結果の公表時に公表した項目を含めて取りまとめたものとなる。

なお、本レポートは単年度の検証結果であり、当該年度の結果のみで、ルール等の評価を行わないよう留意が必要である。長期的な観点での分析・評価については、複数年の結果（状況）を踏まえ、遅くとも実需給年度の翌年までに包括的な検証を行うこととしている。

本レポートにおいて、特段の定めのない用語については、本機関が定める定款²、業務規程²、送配電等業務指針²、および容量市場用語集³と同一の意味を有するものとする。

¹ 参考：第 18 回容量市場の在り方等に関する検討会配布資料 3（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2018/youryou_kentoukai_haihu18.html

参考：第 20 回容量市場の在り方等に関する検討会配布資料 3（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2019/youryou_kentoukai_haihu20.html

参考：第 29 回容量市場の在り方等に関する検討会配布資料 5（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2020/youryou_kentoukai_haihu29.html

² 参考：定款・業務規程・送配電等業務指針（本機関ウェブサイト）

<https://www.occto.or.jp/article/index.html>

³ 参考：容量市場用語集（本機関ウェブサイト）

https://www.occto.or.jp/market-board/market/200205_youryou_yougoshu.html

3. 約定結果

2021 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025 年度）について、2021 年 10 月 1 日～10 月 14 日に応札受付を行い、2022 年 1 月 19 日に約定結果を公表した。（2021 年 12 月 22 日に公表した結果について、「容量確保契約金額の算出に関する経過措置における控除額」の算定のうち、「電源等の経過年数に応じた控除係数」の端数処理に誤りがあることが判明し、容量確保契約金額を訂正する必要が生じたため、2022 年 1 月 19 日に再公表を行った。）

本レポートの公表時点で、契約締結総容量（全国）は 1 億 6,534 万 kW（165,342,148kW）、エリアプライスはブロック 1（北海道エリア）：5,242 円/kW、ブロック 2（北海道・九州エリア以外）：3,495 円/kW、ブロック 3（九州エリア）：5,242 円/kW、経過措置控除後の契約締結総額は 5,140 億円（514,008,633,989 円⁴）となった。

全国市場における全国の供給信頼度および各エリアの供給信頼度にもとづき約定処理上の市場分断を行った結果、ブロック 1（北海道エリア）、北海道・九州以外のブロック 2（北海道・九州エリア以外）、ブロック 3（九州エリア）のブロックに分かれた。（約定処理上の市場分断については 4 章（1）項を参照。）

エリアプライスの関係から、ブロック 1（北海道エリア）・ブロック 3（九州エリア）ではマルチプライス方式が適用された。マルチプライス方式が適用されたため、隣接エリアのエリアプライスの 1.5 倍が当該エリアのエリアプライスとなり、それを超過した応札価格の電源は応札価格が約定価格となった。（マルチプライスについては、本機関の「容量市場の在り方等に関する検討会」における整理⁵を参照。）

発動指令電源の応札容量の合計が、メインオークションにおける調達上限容量（メインオークションにおける調達上限容量は、全国 H3 需要の 3%）を超過し、かつ当該調達上限容量を超える点において、同一価格（0 円/kW）の応札が複数存在した。そのため、同一価格の応札が複数存在した場合の約定処理について、これまでの本機関の「容量市場の在り方等に関する検討会」における整理⁵に基づき、約定・未約定をランダムに決定した。

全国の結果を表 1、エリア毎の結果を表 2～表 4 に示す。

⁴ 約定結果の公表後に、一部の電源で運転を開始した年月の登録内容を修正する必要があったことから、経過措置控除後の契約締結総額は約定総額から 1,955,976 円減額となった。

⁵ 参考：第 32 回容量市場の在り方等に関する検討会配布資料 5（本機関ウェブサイト）

https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2021/youryou_kentoukai_haihu32.html

表1 全国の結果

	契約締結総容量 ^{※1} (kW)	契約締結総額 ^{※2} (円)
全国	165,342,148	514,008,633,989 ^{※3}

※1 FIT 電源等の期待容量等（全国計で 22,056,870kW）を含む調達量は 187,399,018kW

※2 経過措置控除後の数値

※3 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。（内容については3章の脚注4を参照。）

表2 エリア毎の結果

エリア	エリアプライス (円/kW)	エリア毎の契約締結総容量(kW)	エリア毎の契約締結総額 ^{※1} (円)
北海道	5,242 ^{※2}	5,414,104	30,753,944,683
東北	3,495	16,106,883	43,859,649,838
東京	3,495	55,617,210	152,314,000,893 ^{※3}
中部	3,495	23,759,952	65,112,908,225
北陸	3,495	5,494,312	14,811,376,617
関西	3,495	26,172,806	71,813,273,501
中国	3,495	7,808,417	21,062,659,897
四国	3,495	7,465,778	20,276,406,227
九州	5,242 ^{※2}	17,502,686	94,004,414,108

※1 経過措置控除後の数値

※2 マルチプライスでの約定あり

※3 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。（内容については3章の脚注4を参照。）

表3 エリア毎の結果（マルチプライスでの約定分を除く）

エリア	約定価格(円/kW)	エリア毎の契約締結総容量(kW)	エリア毎の契約締結総額 ^{※1} (円)
北海道	5,242	2,995,236	12,594,959,991
東北	3,495	16,106,883	43,859,649,838
東京	3,495	55,617,210	152,314,000,893 ^{※2}
中部	3,495	23,759,952	65,112,908,225
北陸	3,495	5,494,312	14,811,376,617
関西	3,495	26,172,806	71,813,273,501
中国	3,495	7,808,417	21,062,659,897
四国	3,495	7,465,778	20,276,406,227
九州	5,242	12,106,923	51,694,092,872

※1 経過措置控除後の数値

※2 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。（内容については3章の脚注4を参照。）

表4 エリア毎のマルチプライスでの結果

エリア	約定価格(円/kW)	エリア毎の契約締結総容量(kW)	エリア毎の契約締結総額*(円)
北海道	応札価格	2,418,868	18,158,984,692
九州	応札価格	5,395,763	42,310,321,236

※経過措置控除後の数値

(参考) 国の関連審議会において、以下のとおり約定結果を報告⁶している。

容量市場メインオークション(実需給年度：2025年度)の約定結果

- 2021年10月1日～10月14日においてメインオークションが開催され、その約定結果が広域機関より公表された。
 - 2021年度容量市場メインオークションの約定結果は以下のとおり
 - 約定総容量は、1億6,534万kW
 - エリアプライスは、以下のとおり
 - ✓ 北海道エリア : 5,242円/kW
 - ✓ 北海道・九州エリア以外 : 3,495円/kW
 - ✓ 九州エリア : 5,242円/kW
 - 経過措置考慮後の総平均単価は、3,109円/kW
 - 経過措置等を踏まえた約定総額は、5,140億円
- 本作業部会においては、約定結果をご報告するとともに、来年度以降のオークションに向けた検討の方向性についてご議論いただきたい。

1

⁶ 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会(資料 4-2)
https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/seido_kento/060.html

4. オークション結果の集計

今回のオークション結果を、集計目的に応じて分類すると、表5の分類・項目となる。

なお、事業者の経営情報（個別電源の応札価格など）や個社情報が特定されないようにするため、原則3者以上のデータで構成されるよう集計している。また、供給曲線については、スムージング処理を実施している。

表5 集計の分類と項目一覧

分類	項目
供給信頼度の状況把握	(1) 供給信頼度
応札状況の把握	(2) 電源等の応札容量 (3) 応札容量と落札容量（落札率） (4) 発電方式別の応札容量 (5) 落札されなかった電源の応札容量 (6) 応札価格の加重平均 (7) 応札価格の分布 (8) 応札価格一定額以上の応札容量 (9) 需要曲線と供給曲線 (10) 期待容量と応札容量の関係 (11) 卒FIT電源の期待容量と変動電源（アグリゲート）の応札量について (12) 調整機能あり電源の約定容量
情報開示	(13) 落札電源一覧 (14) 一般送配電事業者・小売電気事業者が負担する容量拠出金（試算）

(1) 供給信頼度

全国および各エリアの供給信頼度を表 6 に示す。

需要曲線と供給曲線の交点における全国の供給信頼度は 0.017kWh/kW・年となった。(需要曲線と供給曲線については (9) 項を参照。)

全国市場における全国の供給信頼度および各エリアの供給信頼度にもとづき約定処理上の市場分断処理を行い、北海道、九州が不足エリア(全国の供給信頼度を超過)となり、北海道と九州以外が充足ブロックとなった。

不足エリアで、全国の供給信頼度を満たすまで電源の追加処理を行った結果、追加量は 826 万 kW となった。

不足エリア・充足ブロックの供給信頼度が全国の供給信頼度を満たす範囲内で、充足ブロックで電源の減少処理を行った結果、減少量は 101 万 kW となった。

その結果、ブロック 1 (北海道エリア)、ブロック 3 (九州エリア)、北海道・九州以外のブロック 2 (北海道・九州エリア以外)、ブロック 3 (九州エリア) のブロックに分かれた。

約定処理上の市場分断処理による供給信頼度の変化を図 1、ブロック構成を図 2 に示す。

表 6 全国および各エリアの供給信頼度

	供給信頼度※1 (kWh/kW・年)	(参考) 想定需要※2(kW)	(参考) 調達量※3(kW)
北海道	0.017	4,971,800	6,349,908
東北	0.000	13,326,000	19,727,464
東京	0.001	53,197,900	59,144,693
中部	0.001	24,480,000	27,362,367
北陸	0.000	4,959,900	6,600,749
関西	0.000	27,110,000	27,849,017
中国	0.000	10,331,800	12,194,172
四国	0.000	4,880,000	8,589,409
九州	0.008	15,105,500	19,581,239
全国	—	158,362,900	187,399,018

※1 供給信頼度は四捨五入により表記上、零になる場合があるが、実際には停電量(kWh/年)が発生している。

※2 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度(第5年度)のH3需要(離島除き)

※3 FIT電源等の期待容量等(全国計で22,056,870kW)を含む

<追加減少処理前>					<追加処理後>				<減少処理後>	
エリア	供給信頼度*	市場分断		追加量	供給信頼度*		減少量	供給信頼度*		
北海道	363.234	不足	追加 処理	+242万kW	0.017	減少 処理	-	0.017		
東北	0.001	充足			0.000				0.000	
東京	0.001				0.000				0.001	
中部	0.001				0.001				0.001	
北陸	0.001				0.000			▲101万kW	0.000	
関西	0.001				0.000				0.000	
中国	0.001				0.000				0.000	
四国	0.001				0.000				0.000	
九州	137.555	不足		+584万kW	0.008			-	0.008	

※ 供給信頼度は四捨五入により表記上、零になる場合があるが、実際には停電量 (kWh/年) が発生している。

図1 約定処理上の市場分断処理による供給信頼度の変化

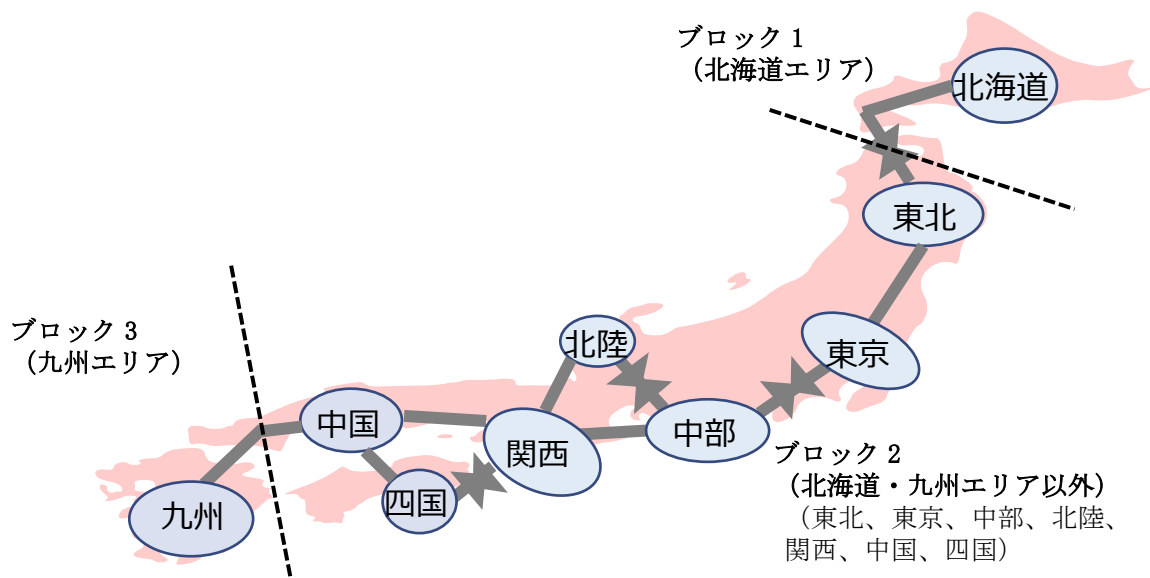


図2 ブロック構成

(2) 電源等の応札容量

全国の応札容量は合計で17,725万kW、そのうち容量を提供する電源等の区別に、安定電源が16,682万kW(94.1%)、変動電源(単独)が439万kW(2.5%)、変動電源(アグリゲート)が38万kW(0.2%)、発動指令電源が566万kW(3.2%)であった。

全国およびブロック別、容量を提供する電源等の区別の応札容量を図3、表7に示す。

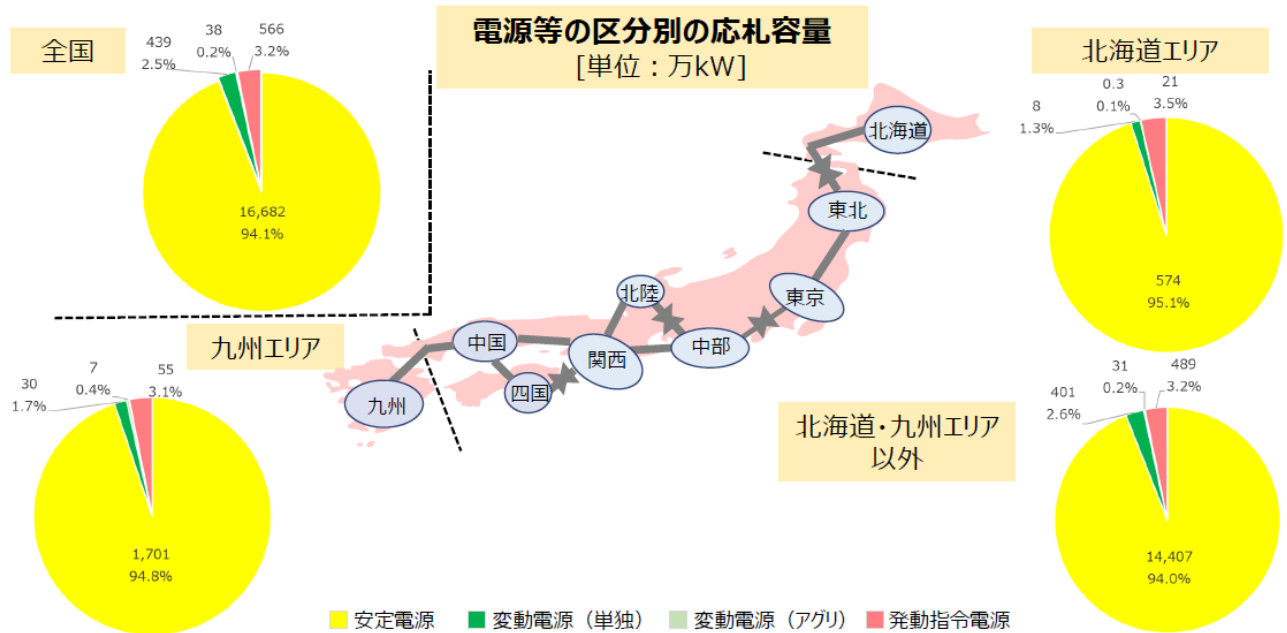


図3 容量を提供する電源等の区別の応札容量

表7 容量を提供する電源等の区分別の応札容量詳細

	容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW)	比率(%)
全国	安定電源	166,818,171	94.1
	変動電源(単独)	4,393,506	2.5
	変動電源(アグリゲート)	380,603	0.2
	発動指令電源	5,658,401	3.2
	計	177,250,681	100.0
ブロック1 (北海道エリア)	安定電源	5,741,263	95.1
	変動電源(単独)	81,050	1.3
	変動電源(アグリゲート)	3,208	0.1
	発動指令電源	211,650	3.5
	計	6,037,171	100.0
ブロック2 (北海道・九州エ リア以外)	安定電源	144,068,138	94.0
	変動電源(単独)	4,010,886	2.6
	変動電源(アグリゲート)	306,600	0.2
	発動指令電源	4,892,700	3.2
	計	153,278,324	100.0
ブロック3 (九州エリア)	安定電源	17,008,770	94.8
	変動電源(単独)	301,570	1.7
	変動電源(アグリゲート)	70,795	0.4
	発動指令電源	554,051	3.1
	計	17,935,186	100.0

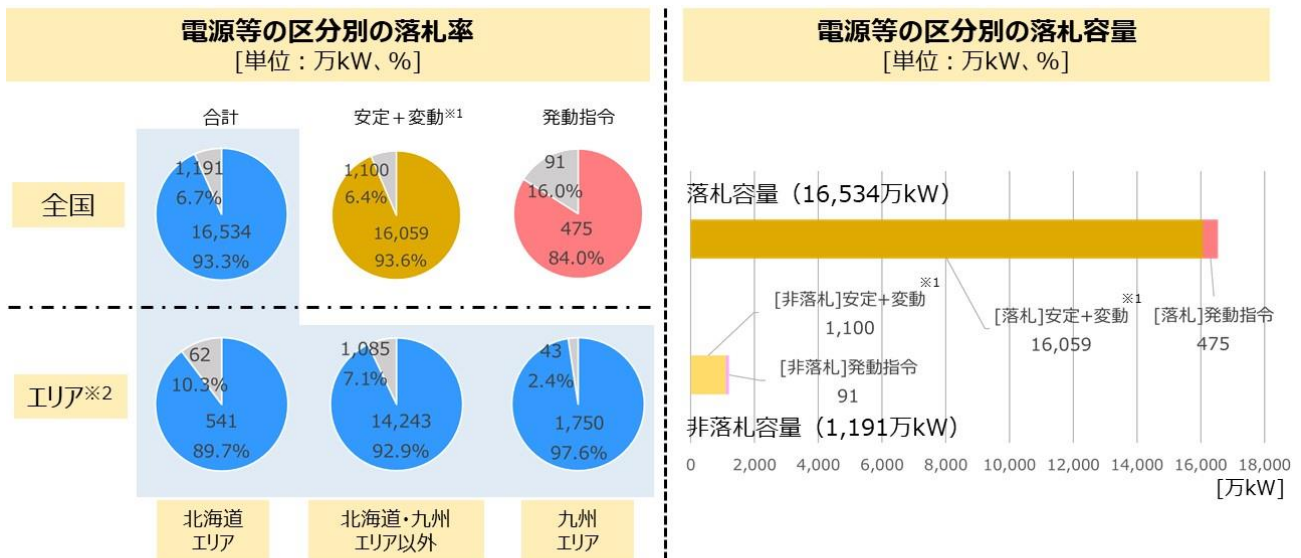
(3) 応札容量と落札容量（落札率）

全国の電源等の区分別の落札容量と落札率は、安定電源、変動電源（単独）、変動電源（アグリゲート）を合わせて 16,059 万 kW で 93.6%、発動指令電源が 475 万 kW で 84.0%であった。また、全体の落札容量と落札率は、16,534 万 kW で 93.3%であった。また、経年 40 年[※]以上の電源の割合は 26.1%であった。

エリア・ブロック別の落札容量と落札率は、ブロック 1（北海道エリア）が 541 万 kW で 89.7%、ブロック 2（北海道・九州エリア以外）が 14,243 万 kW で 92.9%、ブロック 3（九州エリア）が 1,750 万 kW で 97.6%であった。

応札容量・落札容量・落札率を図 4、表 8、落札容量の内訳（経年別）を図 5、表 9 に示す。

※ 経年は実需給年度（2025 年度）を起点に算定



※1 3者未満のデータとなるため、安定電源、変動電源（単独）、変動電源（アグリゲート）を合わせて、「安定+変動」として記載している。
 ※2 電源等の区分別の結果は、3者未満のデータとなるため記載しない。

図 4 落札容量と落札率

表8 応札容量・落札容量・落札率

	容量を提供する 電源等の区分	応札容量(kW)	落札容量(kW)	落札率(%)
全国	安定電源 変動電源(単独) 変動電源(アグリゲート)	171,592,280	160,591,442	93.6
	発動指令電源	5,658,401	4,750,706	84.0
	計	177,250,681	165,342,148	93.3
ブロック1 (北海道エリア)	計	6,037,171	5,414,104	89.7
ブロック2 (北海道・九州エ リア以外)	計	153,278,324	142,425,358	92.9
ブロック3 (九州エリア)	計	17,935,186	17,502,686	97.6

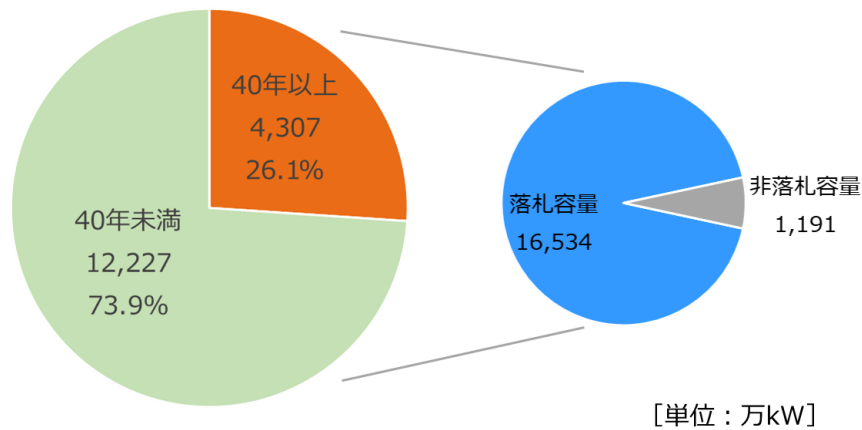


図5 落札容量の内訳(経年別)

表9 落札容量の内訳(経年別)

<経年別>

経年	落札容量(kW)
40年以上	43,073,979
40年未満	122,268,169

(4) 発電方式別の応札容量

安定電源と変動電源(単独)における発電方式別の応札容量については、一般水力は1,309万kW(7.6%)、揚水は2,247万kW(13.1%)、石炭等は4,098万kW(23.9%)、LNGは7,232万kW(42.2%)、石油その他は1,348万kW(7.9%)、原子力は856万kW(5.0%)、その他再生可能エネルギーは31万kW(0.2%)であった。

石炭等のうち、非効率石炭火力の応札容量は968万kW(5.7%)であった。

発電方式別の応札容量と比率を図6、表10に示す。

なお、発電方式については、以下のとおり分類している。

【揚水】純揚水、混合揚水を合算

【石炭等】石炭、バイオマス混焼を合算

【石油その他】石油、LPG、歴青質混合物、その他ガスを合算

【その他再生可能エネルギー】太陽光、風力、地熱、バイオマス専焼、廃棄物を合算

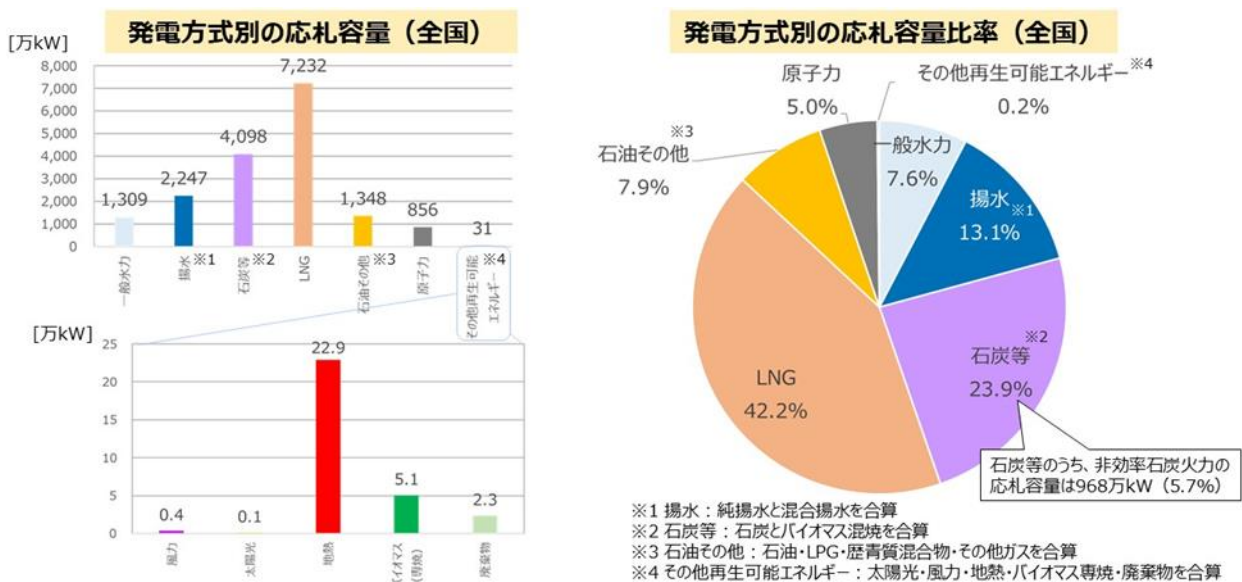


図6 発電方式別の応札容量と比率

表 1 0 発電方式別の応札容量

発電方式の区分	応札容量(kW)	比率(%)
一般水力	13,088,411	7.6
揚水	22,473,747	13.1
石炭等	40,981,810	23.9
LNG	72,315,187	42.2
石油その他	13,482,898	7.9
原子力	8,562,249	5.0
その他再生可能エネルギー	307,375	0.2
風力	3,561	—
太陽光	1,197	—
地熱	228,628	—
バイオマス(専焼)	50,553	—
廃棄物	23,436	—

(5) 落札されなかった電源の応札容量

落札されなかった電源の応札容量は 1,191 万 kW であった。そのうち、発電方式別では石油・石炭・LNG の火力が 88.4% を占めた。また、経年 40 年*以上の電源の割合は 50.3% であった。

落札されなかった電源の応札容量を図 7、表 1 1 に示す。

※ 経年は実需給年度（2025 年度）を起点に算定

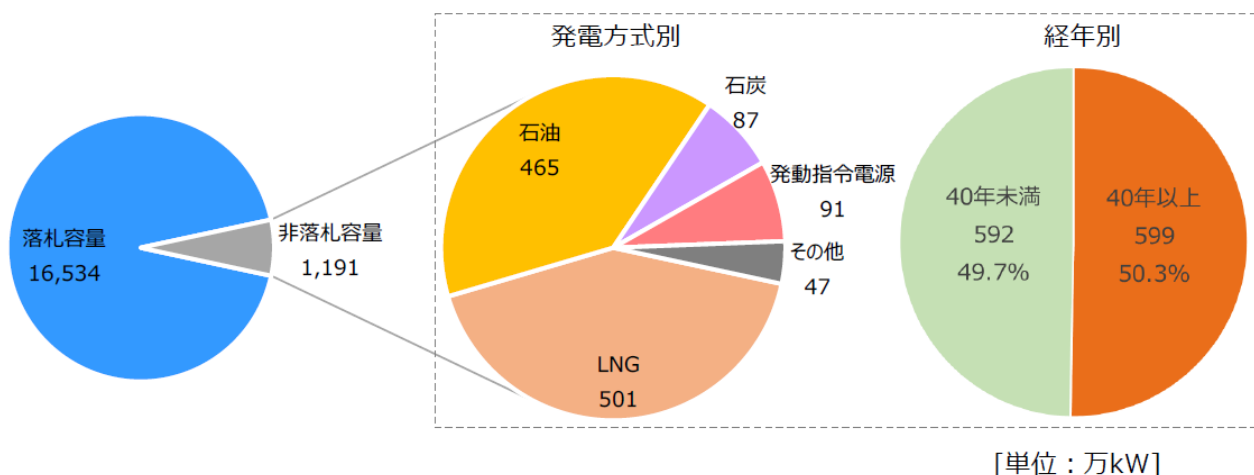


図 7 落札されなかった電源の応札容量の内訳（発電方式別・経年別）

表 1 1 落札されなかった電源の応札容量（発電方式別・経年別）

< 発電方式別 >

発電方式	応札容量(kW)
LNG	5,012,020
石油	4,646,021
石炭	870,750
発動指令電源	907,695
その他	472,047

< 経年別 >

経年	応札容量(kW)
40 年以上	5,988,454
40 年未満	5,920,079

(6) 応札価格の加重平均

全国の応札価格の加重平均は、1,313 円/kW であった。電源等の区分別では、安定電源が 1,392 円/kW、変動電源（単独）が 5 円/kW、変動電源（アグリゲート）が 198 円/kW、発動指令電源が 80 円/kW であった。

ブロック 2（北海道・九州エリア以外）の応札価格加重平均は 852 円/kW、ブロック 1（北海道エリア）では 4,870 円/kW、ブロック 3（九州エリア）では 4,061 円/kW であった。

応札価格の加重平均を図 8、表 1 2 に示す。

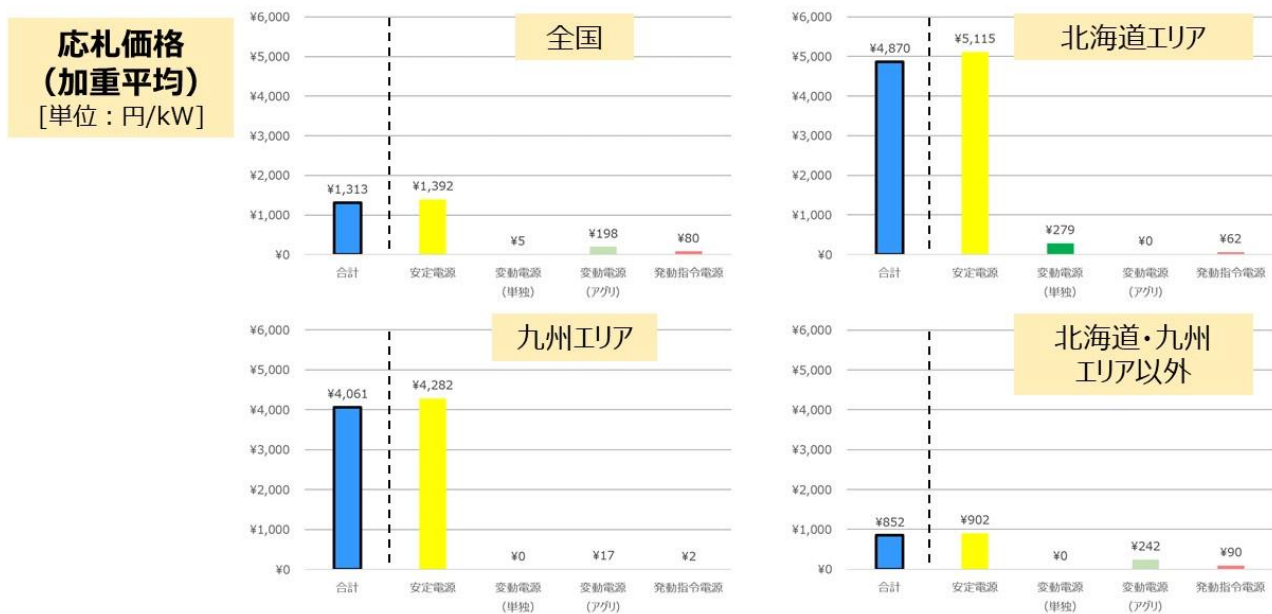


図 8 応札価格の加重平均

表 1 2 応札価格の加重平均

	容量を提供する電源等の区分	応札価格の加重平均(円/kW)
全国	合計	1,313
	安定電源	1,392
	変動電源 (単独)	5
	変動電源 (アグリゲート)	198
	発動指令電源	80
ブロック 1 (北海道エリア)	合計	4,870
	安定電源	5,115
	変動電源 (単独)	279
	変動電源 (アグリゲート)	0
	発動指令電源	62
ブロック 2 (北海道・九州エ リア以外)	合計	852
	安定電源	902
	変動電源 (単独)	0
	変動電源 (アグリゲート)	242
	発動指令電源	90
ブロック 3 (九州エリア)	合計	4,061
	安定電源	4,282
	変動電源 (単独)	0
	変動電源 (アグリゲート)	17
	発動指令電源	2

(7) 応札価格の分布

応札価格を①ゼロ円、②ゼロ円超～Net CONE×50%以下、③Net CONE×50%超～Net CONE 以下、④Net CONE 超の 4 つの区分とした際の応札価格の分布を図 9、表 1 3 に示す。①ゼロ円は 82.9%、②～Net CONE の 50%以下は 7.7%、③～Net CONE 以下は 6.6%、④Net CONE 超は 2.9%であった。

なお、変動電源では 99%以上、発動指令電源では 98%以上がゼロ円応札だった。

(2021 年度メインオークション (対象実需給年度:205 年度) における Net CONE は 9,372 円/kW。)

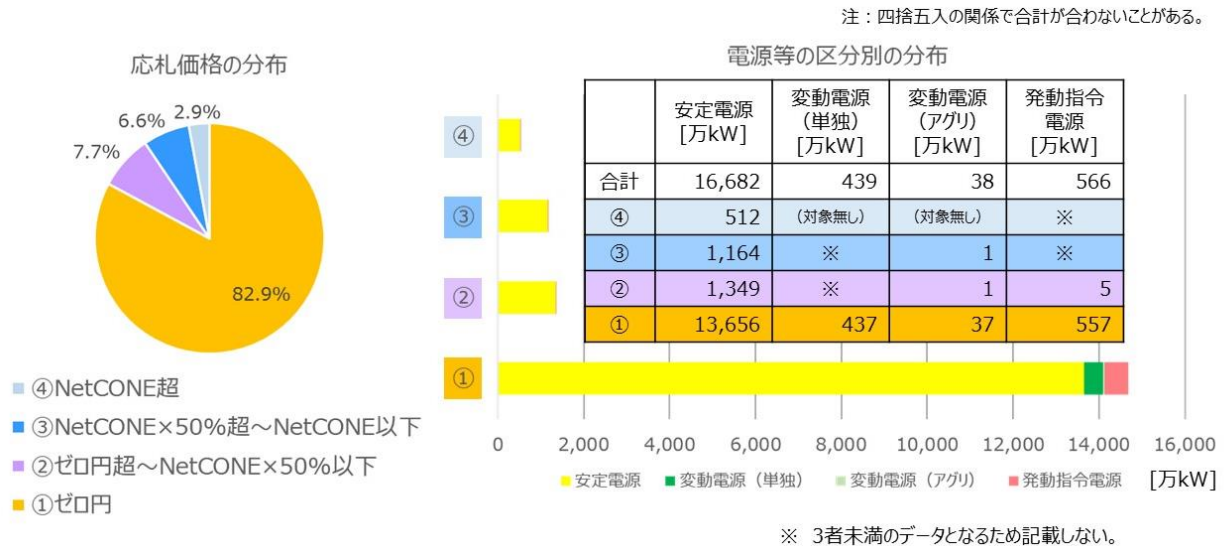


図 9 応札価格の分布

表 1 3 応札価格帯ごとの応札容量 (電源等の区分別)

応札価格帯	電源等の区分別の応札容量 (kW)				比率 (%)
	安定電源	変動電源 (単独)	変動電源 (アグリゲート)	発動指令電源	
④Net CONE 超	5,120,614	0	0	<※>	2.9
③Net CONE×50%超 ～Net CONE 以下	11,644,142	<※>	7,169	<※>	6.6
②ゼロ円超～ Net CONE×50%以下	13,489,084	<※>	8,182	48,000	7.7
①ゼロ円	136,564,331	4,374,643	365,252	5,568,001	82.9

※ 3者未満のデータとなるため記載しない。

(8) 応札価格一定額以上の応札容量

応札価格が、9,372 円/kW (NetCONE) 以上の電源等の応札容量を図 10、表 14 に示す。応札価格 9,372 円/kW 以上の応札容量は 524 万 kW であり、発電方式別では、石油・LNG・石炭が 98.4%を占めた。

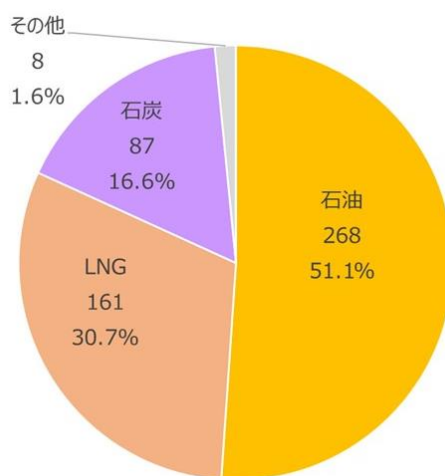


図 10 応札価格が 9,372 円/kW 以上の応札容量

表 14 応札価格が 9,372 円/kW 以上の応札容量詳細

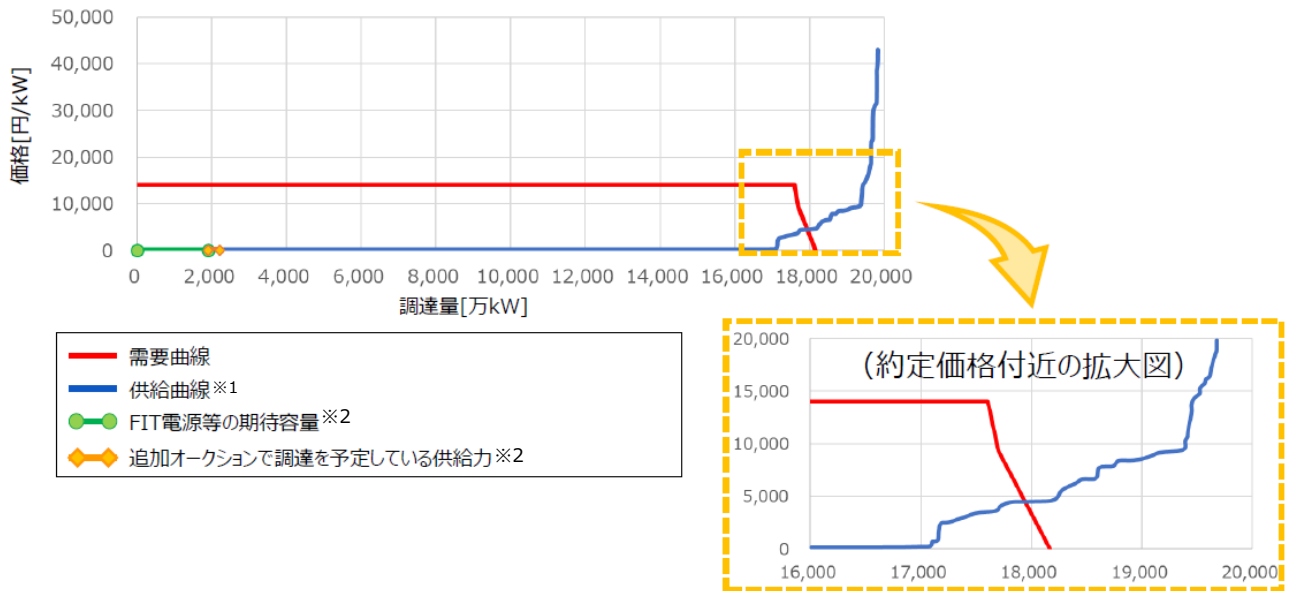
発電方式の区分	応札容量 (kW)	比率 (%)
石油	2,675,042	51.1
LNG	1,608,722	30.7
石炭	870,750	16.6
その他	81,836	1.6

(9) 需要曲線と供給曲線

今年度の供給曲線は、(7) 項のとおりゼロ円での応札が 82.9%、NetCONE 超での応札が 2.9%であり、需要曲線とは指標価格 (NetCONE) より低い価格部分で交差した。

需要曲線に対する供給曲線 (スムージング処理後) を図 1 1 に示す。

<2021年度実施 容量市場メインオークションの供給曲線 (スムージング処理後) >



※1 発動指令電源の応札容量については、メインオークションにおける調達上限容量 (メインオークションにおける調達上限容量は、全国 H3 需要の 3%) を超過した非落札電源の容量は除外している。

※2 供給曲線には下記の各容量も織込んでいる。

FIT 電源等の期待容量等		期待容量／供給力 (kW)
FIT 電源の期待容量	太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス	13,363,012
	石炭とバイオマスの混焼を行う FIT 電源の供給力 (FIT 制度の適用を想定して応札しなかった電源、および応札した結果で非落札となった電源について応札後に織込む)	5,526,600
追加オークションで調達を予定している供給力		3,167,258

図 1 1 需要曲線と供給曲線

(10) 期待容量と応札容量の関係

容量市場では、事前に対象実需給年度において供給力として期待できる容量として期待容量を登録する。(登録された期待容量がメインオークションで応札可能な最大容量となる。) あわせて、登録した期待容量よりも小さい容量で応札することや、期待容量は登録したものの応札しないことが認められている。そのため、期待容量が登録された各電源の応札及びその容量は以下のいずれかとなる。

- ① 登録した期待容量と同じ容量で応札した場合
- ② 登録した期待容量よりも小さい容量で応札した場合
- ③ 期待容量は登録したものの、応札しなかった場合

上記②・③の件数と減少量は表15、図12のとおりであり、「アグリゲートして応札する事業者が、期待容量登録を応札容量より多く登録したケース」、「FIT 混焼をしている電源が、期待容量を登録してから応札判断を直前に行ったケース」、「未稼働原子力について期待容量のみ登録したケース」などがあった。

表15 件数および減少量

	件数	減少量(kW)
②登録した期待容量より小さい容量で応札	216	3,933,206
③期待容量は登録したものの、未応札	114	4,154,083

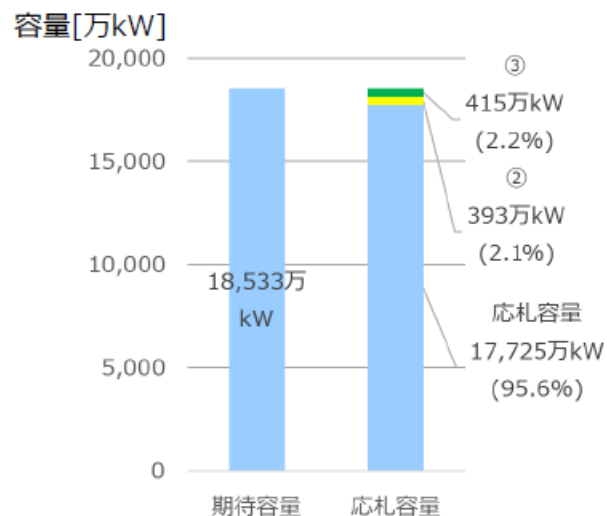


図12 減少量と比率

発動指令電源では、期待容量の登録の際に「ビジネスプラン申請書」を作成し、実需給の4年前に開催されるメインオークション時における期待容量を実績および将来的な計画を踏まえて算定するものとしている。(算定においては、電源と需要家について、「参加登録時に確保しているエリア毎の期待容量：顧客情報(会社名、業種等)」と「具体的かつ積み上げ型の分析にもとづく期待容量：対象セグメント(工場、オフィス等)や抑制方法、顧客獲得戦略」に分けて期待容量を記載する。)

応札した発動指令電源における、確保している期待容量(電源)は74万kW(10.4%)、確保している期待容量(需要家)は121万kW(16.9%)、分析に基づく期待容量(電源)は93万kW(13.0%)、分析に

基づく期待容量（需要家）は427万kW（59.7%）であった。

応札した発動指令電源における各区分の期待容量を図13、表16に示す。

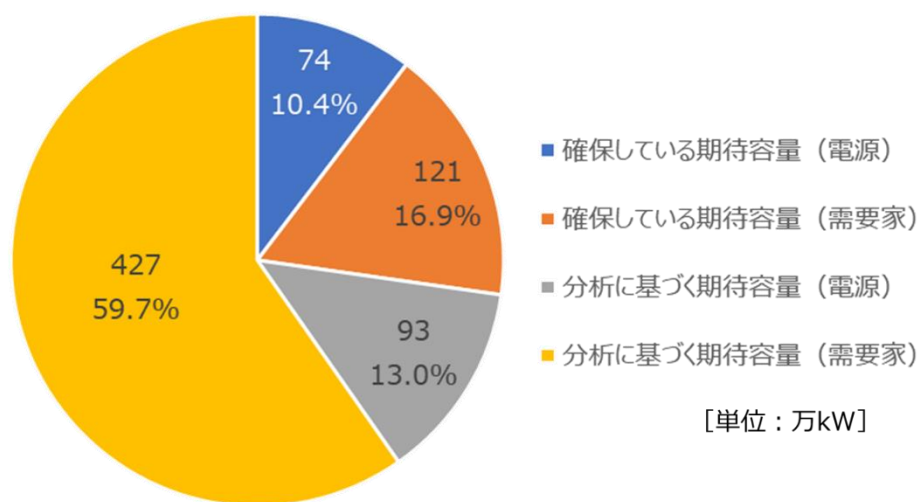


図13 応札した発動指令電源における確保している期待容量・分析に基づく期待容量

表16 応札した発動指令電源における確保している期待容量・分析に基づく期待容量

区分	期待容量(kW)
確保している期待容量 (電源)	740,529
確保している期待容量 (需要家)	1,206,110
分析に基づく期待容量 (電源)	931,060
分析に基づく期待容量 (需要家)	4,266,959

(11) 卒FIT電源の期待容量と変動電源（アグリゲート）の応札量について

FIT電源および電源入札制度を活用した電源については、容量市場に参加することができないものの、2024年度末までにFIT認定が終了する設備（以下、「卒FIT」という）については、オークションに参加することができる。卒FITについては、2020年度末時点で確認可能なFIT容量の導入容量を基に算定すると76万kW（760,978kW）だった。これに対して、卒FITの多くが参加することとなる変動電源（アグリゲート）の応札容量は38万kW（380,603kW）*だった。各容量を表17に示す。

※卒FIT以外の電源の応札容量を含む

表17 卒FIT電源の期待容量と変動電源（アグリゲート）の応札容量

	容量(kW)
卒FITの期待容量	760,978
変動電源（アグリゲート）の応札容量	380,603

(12) 調整機能あり電源の約定容量

調整機能あり電源の約定容量を表18に示す。

なお、調整機能ありの非落札電源の応札容量の総量は1,087万kW（10,869,676kW）だった。

表18 調整機能あり電源の約定容量

エリア	調整機能あり電源の約定容量 (kW)			(参考) 調達量* ¹ (kW)
		(内) LNG (kW)	(内) 揚水 (kW)	
北海道	4,586,725	538,333	742,969	6,349,908
東北	13,047,204	6,563,401	0	19,727,464
東京	45,960,030	26,198,805	9,331,463	59,144,693
中部	21,418,629	13,510,951	3,714,718	27,362,367
北陸	4,215,563	876,333	105,954	6,600,749
関西	17,561,347	7,544,688	3,722,235	27,849,017
中国	6,703,387	2,441,158	1,808,779	12,194,172
四国	5,577,810	861,581	628,651	8,589,409
九州	9,103,284	3,468,584	1,984,027	19,581,239
全国	128,173,979	62,003,834	22,038,796	187,399,018

※1 FIT電源等の期待容量等（全国計で22,056,870kW）を含む

(13) 落札電源一覧

落札電源一覧として落札電源毎の応札事業者名、電源ID*、落札容量[kW]を公表⁷している。

※ 応札した電源等に対して、容量オークションごとに設定

⁷ 容量市場メインオークション約定結果（対象実需給年度：2025年度）別紙：落札電源一覧（本機関ウェブサイト）

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2021/files/211222_mainauction_keiyakukekka_kouhyou_besshi_jitsuukyuu2025.pdf

(14) 一般送配電事業者・小売電気事業者が負担する容量拠出金（試算）

エリア別の一般送配電事業者・小売電気事業者が負担する容量拠出金（試算）を表19に示す。

なお、「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 第四次中間とりまとめ」（令和3年6月）に基づき、一般送配電事業者の負担をH3需要の7%相当分とし、小売電気事業者の負担を一般送配電事業者負担分と経過措置控除分を差し引いたものとして試算を行った。

※ 追加オークションで調達を予定している供給力の負担を考慮した場合、容量拠出金は増加することがある。また、容量提供事業者の経済的ペナルティがない場合の容量拠出金（試算値）であり、当該ペナルティを考慮した場合、容量拠出金は減少することがある。

表19 容量拠出金（試算）

エリア	容量拠出金（円）		H3 需要想定 (kW) ^{※1}
	一般送配電事業者	小売電気事業者	
北海道	2,255,069,576	26,549,805,019	4,971,800
東北	3,260,205,900	35,241,257,419	13,326,000
東京	13,014,866,235	140,684,443,045 ^{※2}	53,197,900
中部	5,989,032,000	64,738,554,826	24,480,000
北陸	1,213,439,535	13,116,697,634	4,959,900
関西	6,632,461,500	71,693,718,191	27,110,000
中国	2,527,674,870	27,322,949,377	10,331,800
四国	1,193,892,000	12,905,398,184	4,880,000
九州	6,587,253,405	79,081,915,273	15,105,500
計	42,673,895,021	471,334,738,968 ^{※2}	158,362,900

※1 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度（第5年度）のH3需要（離島除き）

※2 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。（内容については3章の脚注4を参照。）

(参考) 市場支配力の行使等の分析

「容量市場における入札ガイドライン」に基づく、市場支配力の行使（「売り惜しみ」及び「価格つり上げ」等の問題となる行為がなかったか）等の分析については、経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会において報告されている。

経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会ウェブサイト

[容量市場 2021 年度メインオークションに係る事前監視の結果報告](#)

[容量市場 2021 年度メインオークションに係る事後監視結果の報告](#)

5. シナリオ分析

容量市場メインオークションにおいて、ルール等が与えた影響を把握するためにシナリオ分析を実施する。なお、シナリオ分析の結果としてルール等の評価を行わないよう留意が必要となる。

想定需要に対する分析として、再エネ供給力が全国 H3 需要に対して±1.0%、±2.0%と増減した場合の分析を行う。

また、2021 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025 年度）においては、石炭とバイオマスの混焼を行う FIT 電源が未応札もしくは非落札だった場合に FIT 電源等の期待容量に事後的に織込むこと、発動指令電源の調達上限を 3%から 4%に拡大することとした。そこで、今回、事後的に織込むことがなかった場合、発動指令電源の調達上限を設定しなかった場合に対して分析を行った。

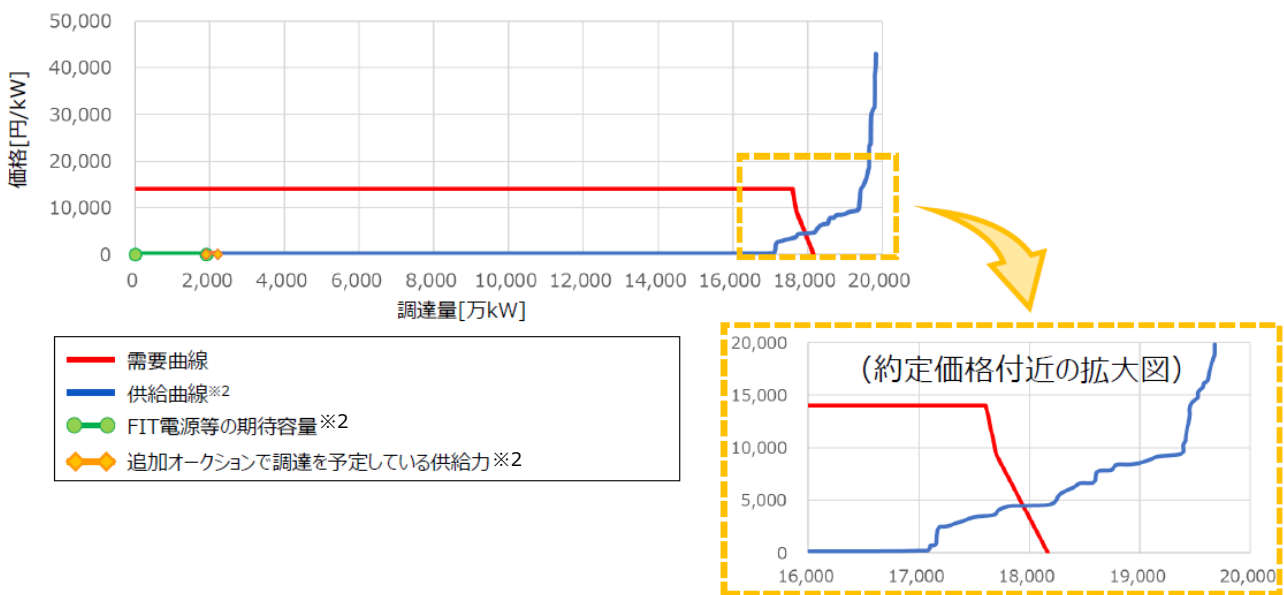
なお、分析においては、全国の約定処理における価格についてのみ確認を行っている。

(1) 全国の約定処理における価格

約定処理は、全国の約定処理を実施し、供給信頼度を確認したうえで全国の供給信頼度に満たないエリア（ブロック）に対して電源を追加し、充足しているエリア（ブロック）で電源を減少させていくプロセスとなる。今回、全国の約定処理の段階における価格は 4,573 円/kW であった。

(再掲)

<2021年度実施 容量市場メインオークションの供給曲線（スムージング処理後）>



(2) 需給に対する分析

需給に対する分析として、再エネ供給力が増減した場合の分析を行った。

再エネ供給力が全国 H3 需要に対して±1.0%、±2.0%と増減した場合、全国の約定処理における価格は表 20 のとおりとなった。

表 20 需給に対する分析

全国 H3 需要に対する再エネ供給力の増減	全国の約定処理の段階における価格(円/kW)
-2.0% (-317 万 kW)	5,824
-1.0% (-158 万 kW)	4,648
0	4,573
+1.0% (+158 万 kW)	4,498
+2.0% (+317 万 kW)	3,875

(3) 石炭とバイオマスの混焼を行う FIT 電源の供給力を応札後に FIT 電源等の期待容量に織り込まなかった場合の分析

石炭とバイオマスの混焼を行う FIT 電源が未応札もしくは非落札だった供給力は約 550 万 kW であった。未応札もしくは非落札だった供給力を事後的に FIT 電源等の期待容量に織り込まなかった場合、全国の約定処理の段階における価格は 6,563 円/kW となった。

(4) 発動指令電源の調達上限を設定しなかった場合の分析

発動指令電源は、今回のオークションより調達上限を 3%から 4%とした。(メインオークションでは 3%、追加オークションでは 1%を調達上限とした。)また、今回のメインオークションにおいては調達上限の 3%を超える応札があった。発動指令電源の調達上限を設定しなかった場合、全国の約定処理の段階における価格は 4,573 円/kW となった。

6. オークション結果の推移

(1) オークション結果の推移

2020年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2024年度）から2021年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025年度）でのオークション結果のうち、契約締結総容量、エリアプライス、契約締結総額（経過措置控除後）、応札価格の分布について、推移を図14～図17に示す。

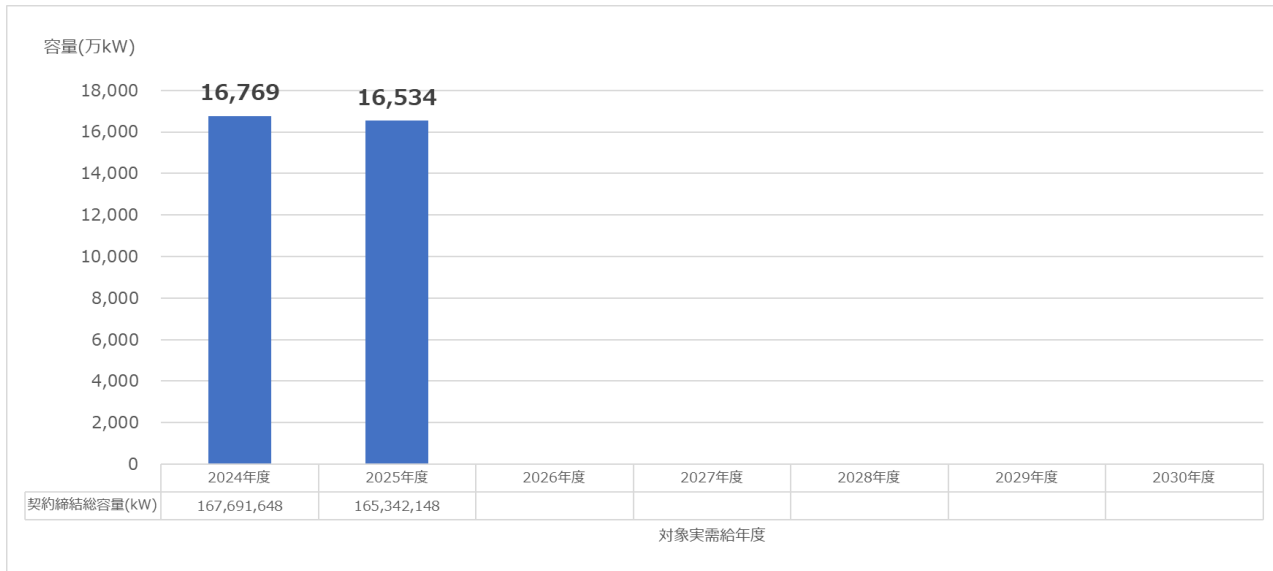


図14 契約締結総容量



図15 エリアプライス

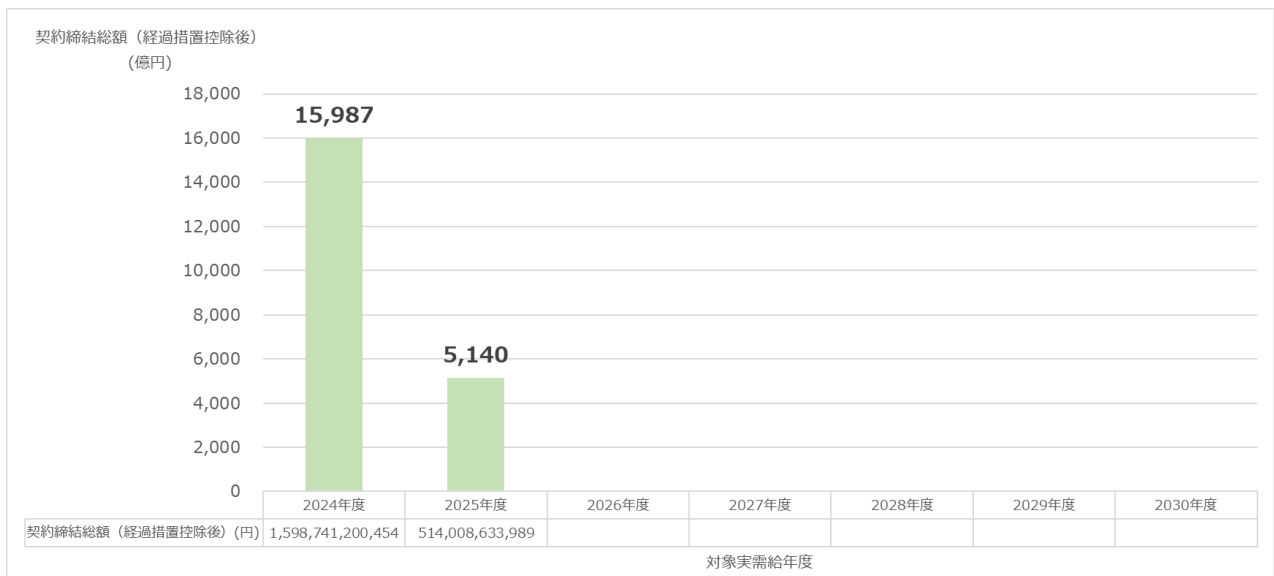


図 1 6 契約締結総額（経過措置控除後）

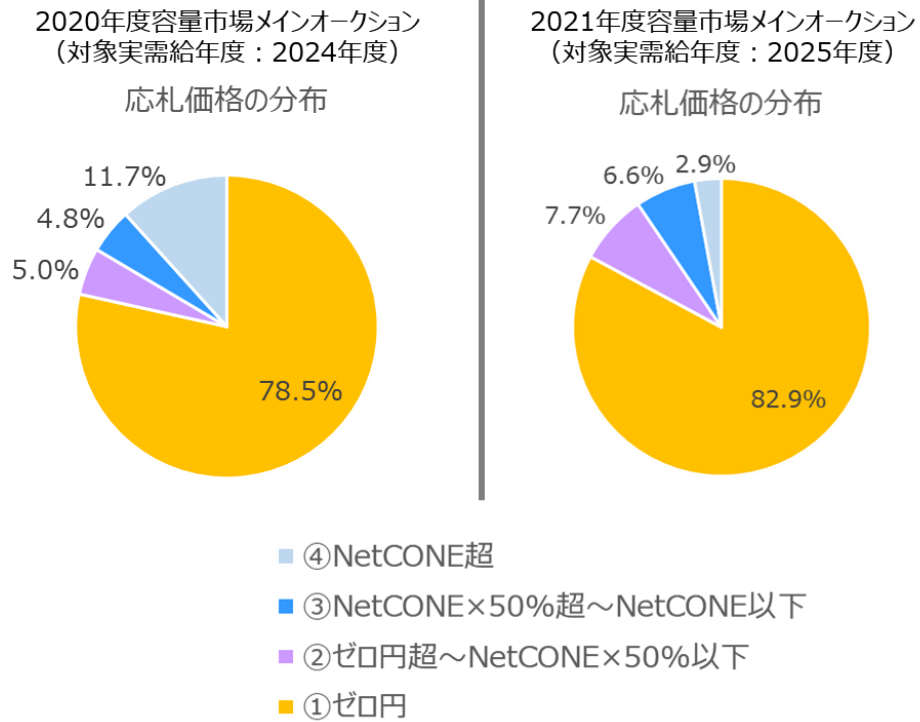


図 1 7 応札価格の分布

(2) メインオークション、追加オークションの想定需要、目標調達量の推移

2020 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2024 年度）、2021 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025 年度）での想定需要および目標調達量を表 2 1 に示す。

表 2 1 想定需要と目標調達量

対象実需給年度	メインオークション		追加オークション	
	想定需要※1 (万 kW)	目標調達量 (万 kW)	想定需要 (万 kW)	目標調達量 (万 kW)
2024 年度	15,761	17,747	—	—
2025 年度	15,836	17,699	—	—

※1 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度（第 5 年度）の H3 需要（離島除き）

(3) 応札容量の前年度からの推移

2020 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2024 年度）から 2021 年度容量市場メインオークション（対象実需給年度：2025 年度）での応札容量の推移を表 2 2 に示す。

表 2 2 応札容量の前年度からの推移

< 全国（今年度：対象実需給年度 2025 年度、前年度：対象実需給年度 2024 年度） >

	容量を提供する電源等の区分	応札容量 (今年度) (kW)	応札容量 (前年度) (kW)	差分 (kW)
全国	計	177,250,681	172,017,156	5,233,525
	安定電源	166,818,171	163,114,237	3,703,934
	変動電源（単独）	4,393,506	4,512,543	▲ 119,037
	変動電源（アグリゲート）	380,603	239,758	140,845
	発動指令電源	5,658,401	4,150,618	1,507,783

<ブロック（今年度：対象実需給年度 2025 年度）>

ブロック	容量を提供する電源等の区分	応札容量 (kW)
ブロック 1 (北海道エリア)	計	6,037,171
	安定電源	5,741,263
	変動電源（単独）	81,050
	変動電源（アグリゲート）	3,208
	発動指令電源	211,650
ブロック 2 (北海道・九州エ リア以外)	計	153,278,324
	安定電源	144,068,138
	変動電源（単独）	4,010,886
	変動電源（アグリゲート）	306,600
	発動指令電源	4,892,700
ブロック 3 (九州エリア)	計	17,935,186
	安定電源	17,008,770
	変動電源（単独）	301,570
	変動電源（アグリゲート）	70,795
	発動指令電源	554,051

<ブロック（前年度：対象実需給年度 2024 年度）>

ブロック	容量を提供する電源等の区分	応札容量 (kW)
ブロック 1 (九州エリア 以外)	計	154,659,602
	安定電源	146,628,329
	変動電源（単独）	4,213,484
	変動電源（アグリゲート）	170,131
	発動指令電源	3,647,658
ブロック 2 (九州エリア)	計	17,357,554
	安定電源	16,485,908
	変動電源（単独）	299,059
	変動電源（アグリゲート）	69,627
	発動指令電源	502,960

(4) 地域間連系線の運用容量等の推移

約定処理では地域間連系線の運用容量等をもとに供給信頼度計算を行っている。

なお、運用容量等については、本機関の運用容量検討会およびマージン検討会で検討・公表されている⁸。

前年度から今年度にかけて、対象実需給年度の 2025 年度において設備増強等による運用容量等の増減は無かった。

以上

⁸ 参考：2020 年度 第 4 回運用容量検討会配布資料 1-2（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/nyouyouryou/2020/nyouyouryou_2020_4_haifu.html
参考：2019 年度 第 5 回運用容量検討会配布資料 1-2（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/nyouyouryou/2019/nyouyouryou_2019_5_haifu.html
参考：2020 年度 第 3 回マージン検討会配布資料 5（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/margin/2020/margin_kentoukai_2020_3.html
参考：2019 年度 第 4 回マージン検討会配布資料 5（本機関ウェブサイト）
https://www.occto.or.jp/iinkai/margin/2019/margin_kentoukai_2019_4.html

別紙 2

全国の結果

	契約締結総容量 ^{※1} (kW)	契約締結総額 ^{※2※3} (円)
全国	165,342,148	514,008,633,989

※1 FIT電源等の期待容量等（全国計で22,056,870kW）を含む調達量は187,399,018kW

※2 経過措置控除後の数値

※3 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。

エリア毎の結果

エリア	エリアプライス ^{※1} (円/kW)	エリア毎の契約締結総容量 (kW)	エリア毎の契約締結総額 ^{※2※3} (円)
北海道	5,242	5,414,104	30,753,944,683
東北	3,495	16,106,883	43,859,649,838
東京	3,495	55,617,210	152,314,000,893
中部	3,495	23,759,952	65,112,908,225
北陸	3,495	5,494,312	14,811,376,617
関西	3,495	26,172,806	71,813,273,501
中国	3,495	7,808,417	21,062,659,897
四国	3,495	7,465,778	20,276,406,227
九州	5,242	17,502,686	94,004,414,108

※1 北海道エリアと九州エリアはマルチプライスでの約定あり

※2 経過措置控除後の数値

※3 東京エリアは 約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。

エリア毎の結果（マルチプライスでの約定分を除く）

エリア	約定価格 (円/kW)	エリア毎の契約締結総容量 (kW)	エリア毎の契約締結総額 ※1※2(円)
北海道	5,242	2,995,236	12,594,959,991
東北	3,495	16,106,883	43,859,649,838
東京	3,495	55,617,210	152,314,000,893
中部	3,495	23,759,952	65,112,908,225
北陸	3,495	5,494,312	14,811,376,617
関西	3,495	26,172,806	71,813,273,501
中国	3,495	7,808,417	21,062,659,897
四国	3,495	7,465,778	20,276,406,227
九州	5,242	12,106,923	51,694,092,872

※1 経過措置控除後の数値

※2 東京エリアは約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。

エリア毎のマルチプライスでの結果

エリア	約定価格 (円/kW)	エリア毎の契約締結総容量 (kW)	エリア毎の契約締結総額※ (円)
北海道	応札価格	2,418,868	18,158,984,692
九州	応札価格	5,395,763	42,310,321,236

※経過措置控除後の数値

全国および各エリアの供給信頼度

対象実需給年度		ブロック構成	供給信頼度 ^{※1} (kWh/kW・年)	(参考) 想定需要 ^{※2} (kW)	(参考) 調達量 ^{※3} (kW)
2025	全国	－	－	158,362,900	187,399,018
	北海道	ブロック1	0.017	4,971,800	6,349,908
	東北	ブロック2	0.000	13,326,000	19,727,464
	東京	ブロック2	0.001	53,197,900	59,144,693
	中部	ブロック2	0.001	24,480,000	27,362,367
	北陸	ブロック2	0.000	4,959,900	6,600,749
	関西	ブロック2	0.000	27,110,000	27,849,017
	中国	ブロック2	0.000	10,331,800	12,194,172
	四国	ブロック2	0.000	4,880,000	8,589,409
	九州	ブロック3	0.008	15,105,500	19,581,239

※1 供給信頼度は四捨五入により表記上、零になる場合があるが、実際には停電量 (kWh/年) が発生している。

※2 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度 (第5年度) のH3需要 (離島除き)

※3 FIT電源等の期待容量等 (全国計で22,056,870kW) を含む

電源等の応札容量 容量を提供する電源等の区分別の応札容量詳細

対象実需給年度		容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW)	比率(%)
2025	全国	安定電源	166,818,171	94.1
		変動電源 (単独)	4,393,506	2.5
		変動電源 (アグリゲート)	380,603	0.2
		発動指令電源	5,658,401	3.2
		計	177,250,681	100.0
	ブロック1	安定電源	5,741,263	95.1
		変動電源 (単独)	81,050	1.3
		変動電源 (アグリゲート)	3,208	0.1
		発動指令電源	211,650	3.5
		計	6,037,171	100.0
	ブロック2	安定電源	144,068,138	94.0
		変動電源 (単独)	4,010,886	2.6
		変動電源 (アグリゲート)	306,600	0.2
		発動指令電源	4,892,700	3.2
		計	153,278,324	100.0
	ブロック3	安定電源	17,008,770	94.8
		変動電源 (単独)	301,570	1.7
		変動電源 (アグリゲート)	70,795	0.4
		発動指令電源	554,051	3.1
		計	17,935,186	100.0

応札容量・落札容量・落札率

対象実需給年度		容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW)	落札容量(kW)	落札率(%)
2025	全国	安定電源、変動電源（単独）、変動電源（アグリゲート）	171,592,280	160,591,442	93.6
		発動指令電源	5,658,401	4,750,706	84.0
		計	177,250,681	165,342,148	93.3
	ブロック1	計	6,037,171	5,414,104	89.7
	ブロック2	計	153,278,324	142,425,358	92.9
	ブロック3	計	17,935,186	17,502,686	97.6

落札容量の内訳（経年別）

<経年別>

経年	応札容量(kW)
40年以上	43,073,979
40年未満	122,268,169

発電方式別の応札容量

対象実需給年度	発電方式の区分	応札容量(kW)	比率(%)
2025	一般水力	13,088,411	7.6
	揚水 ^{※1}	22,473,747	13.1
	石炭等 ^{※2}	40,981,810	23.9
	LNG	72,315,187	42.2
	石油その他 ^{※3}	13,482,898	7.9
	原子力	8,562,249	5.0
	その他再生可能エネルギー ^{※4}	307,375	0.2
	風力	3,561	—
	太陽光	1,197	—
	地熱	228,628	—
バイオマス（専焼）	50,553	—	
廃棄物	23,436	—	

※1 揚水：純揚水と混合揚水を合算

※2 石炭等：石炭とバイオマス混焼を合算

※3 石油その他：石油・LPG・歴青質混合物・その他ガスを合算

※4 その他再生可能エネルギー：太陽光・風力・地熱・バイオマス専焼・廃棄物を合算

落札されなかった電源の応札容量（発電方式別）

発電方式	応札容量(kW)
LNG	5,012,020
石油	4,646,021
石炭	870,750
発動指令電源	907,695
その他	472,047

落札されなかった電源の応札容量（経年別）

経年	応札容量(kW)
40年以上	5,988,454
40年未満	5,920,079

応札価格の加重平均

対象実需給年度		容量を提供する電源等の区分	応札価格の加重平均(円/kW)
2025	全国	合計	1,313
		安定電源	1,392
		変動電源 (単独)	5
		変動電源 (アグリゲート)	198
		発動指令電源	80
	ブロック1	合計	4,870
		安定電源	5,115
		変動電源 (単独)	279
		変動電源 (アグリゲート)	0
		発動指令電源	62
	ブロック2	合計	852
		安定電源	902
		変動電源 (単独)	0
		変動電源 (アグリゲート)	242
		発動指令電源	90
	ブロック3	合計	4,061
		安定電源	4,282
		変動電源 (単独)	0
		変動電源 (アグリゲート)	17
		発動指令電源	2

応札価格帯ごとの応札容量（電源等の区分別）

対象実需給年度	応札価格帯	電源等の区分別の応札容量(kW)				比率(%)
		安定電源	変動電源（単独）	変動電源（アクティブ）	発動指令電源	
2025	④Net CONE超	5,120,614	0	0	※1	2.9
	③Net CONE×50%超～Net CONE以下	11,644,142	※1	7,169	※1	6.6
	②ゼロ円超～Net CONE×50%以下	13,489,084	※1	8,182	48,000	7.7
	①ゼロ円	136,564,331	4,374,643	365,252	5,568,001	82.9

※ 1 3者未満のデータとなるため記載しない。

※ 2 Net CONEは9,372円/kW

応札価格一定額[※]以上の応札容量

対象実需給年度	発電方式の区分	応札容量(kW)	比率(%)
2025	石油	2,675,042	51.1
	LNG	1,608,722	30.7
	石炭	870,750	16.6
	その他	81836	1.6

※NetCONE : 9,372円/kW

FIT電源等の期待容量等

FIT電源等の期待容量等		期待容量／供給力(kW)
FIT電源の期待容量	太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス	13,363,012
	石炭とバイオマスの混焼を行うFIT電源の供給力 (FIT制度の適用を想定して応札しなかった電源、 および応札した結果で非落札となった電源について 応札後に織込む)	5,526,600
追加オークションで調達を予定している供給力		3,167,258

期待容量と応札容量の関係

対象実需給年度		件数	減少量(kW)
2025	登録した期待容量より小さい容量で応札	216	3,933,206
	期待容量は登録したものの、未応札	114	4,154,083

応札した発動指令電源における確保している期待容量・分析に基づく期待容量

区分	期待容量(kW)
確保している期待容量 (電源)	740,529
確保している期待容量 (需要家)	1,206,110
分析に基づく期待容量 (電源)	931,060
分析に基づく期待容量 (需要家)	4,266,959

卒FIT電源の期待容量と変動電源（アグリゲート）の応札量

対象実需給年度		容量(kW)
2025	卒FITの期待容量	760,978
	変動電源（アグリゲート）の応札容量	380,603

調整機能あり電源の約定容量

対象実需給年度	エリア	調整機能あり 電源の約定容量(kW)			(参考) 調達量 ^{※1} (kW)
			(内) LNG(kW)	(内) 揚水(kW)	
2025	北海道	4,586,725	538,333	742,969	6,349,908
	東北	13,047,204	6,563,401	0	19,727,464
	東京	45,960,030	26,198,805	9,331,463	59,144,693
	中部	21,418,629	13,510,951	3,714,718	27,362,367
	北陸	4,215,563	876,333	105,954	6,600,749
	関西	17,561,347	7,544,688	3,722,235	27,849,017
	中国	6,703,387	2,441,158	1,808,779	12,194,172
	四国	5,577,810	861,581	628,651	8,589,409
	九州	9,103,284	3,468,584	1,984,027	19,581,239
	全国	128,173,979	62,003,834	22,038,796	187,399,018

※1 FIT電源等の期待容量等（全国計で22,056,870kW）を含む

容量拠出金（試算）

対象実需給年度	エリア	容量拠出金(円)		H3需要想定 ^{※1} (kW)
		一般送配電事業者	小売電気事業者 ^{※2}	
2025	北海道	2,255,069,576	26,549,805,019	4,971,800
	東北	3,260,205,900	35,241,257,419	13,326,000
	東京	13,014,866,235	140,684,443,045	53,197,900
	中部	5,989,032,000	64,738,554,826	24,480,000
	北陸	1,213,439,535	13,116,697,634	4,959,900
	関西	6,632,461,500	71,693,718,191	27,110,000
	中国	2,527,674,870	27,322,949,377	10,331,800
	四国	1,193,892,000	12,905,398,184	4,880,000
	九州	6,587,253,405	79,081,915,273	15,105,500
	計	42,673,895,021	471,334,738,968	158,362,900

※1 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度（第5年度）のH3需要（離島除き）

※2 東京エリアは約定結果（2022年1月19日公表）の金額から変更。

需給に対する分析

全国H3需要に対する再エネ供給力の増減	全国の約定処理の段階における価格(円/kW)
- 2.0% (- 317万kW)	5,824
- 1.0% (- 158万kW)	4,648
0	4,573
+ 1.0% (+ 158万kW)	4,498
+ 2.0% (+ 317万kW)	3,875

想定需要と目標調達量

対象実需給年度	メインオークション		追加オークション	
	想定需要 ^{※1} (万kW)	目標調達量(万kW)	想定需要(万kW)	目標調達量(万kW)
2024年度	15,761	17,747	－	－
2025年度	15,836	17,699	－	－

※1 メインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度（第5年度）のH3需要（離島除き）

応札容量の前年度からの変化

<全国（今年度：対象実需給年度2025年度、前年度：対象実需給年度2024年度）>

ブロック	容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW) (今年度)	応札容量(kW) (前年度)	差分 (kW)
全国	合計	177,250,681	172,017,156	5,233,525
	安定電源	166,818,171	163,114,237	3,703,934
	変動電源（単独）	4,393,506	4,512,543	▲ 119,037
	変動電源（アグリゲート）	380,603	239,758	140,845
	発動指令電源	5,658,401	4,150,618	1,507,783

応札容量の前年度からの変化

<ブロック（今年度：対象実需給年度2025年度）>

ブロック	容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW)
ブロック1	合計	6,037,171
	安定電源	5,741,263
	変動電源（単独）	81,050
	変動電源（アグリゲート）	3,208
	発動指令電源	211,650
ブロック2	合計	153,278,324
	安定電源	144,068,138
	変動電源（単独）	4,010,886
	変動電源（アグリゲート）	306,600
	発動指令電源	4,892,700
ブロック3	合計	17,935,186
	安定電源	17,008,770
	変動電源（単独）	301,570
	変動電源（アグリゲート）	70,795
	発動指令電源	554,051

応札容量の前年度からの変化

<ブロック（前年度：対象実需給年度2024年度）>

ブロック	容量を提供する電源等の区分	応札容量(kW)
ブロック1（九州エリア以外）	合計	154,659,602
	安定電源	146,628,329
	変動電源（単独）	4,213,484
	変動電源（アグリゲート）	170,131
	発動指令電源	3,647,658
ブロック2（九州エリア）	合計	17,357,554
	安定電源	16,485,908
	変動電源（単独）	299,059
	変動電源（アグリゲート）	69,627
	発動指令電源	502,960

容量市場メインオークション検証レポート(対象実需給年度:2025年度)の公表について

容量市場メインオークション検証レポート(対象実需給年度:2025年度)を公表いたします。

上段リンク: 別紙 1
下段リンク: 別紙 2

- [容量市場メインオークション検証レポート\(対象実需給年度:2025年度\)](#)  (1029KB)
- [容量市場メインオークション検証レポート数値データ\(対象実需給年度:2025年度\)](#)  (29KB)

「容量市場における入札ガイドライン」に基づく、市場支配力の行使(「売り惜しみ」及び「価格つり上げ」等の問題となる行為がなかったか)等の分析については、経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会において報告されております。

経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会 ウェブサイト

[容量市場 2021年度メインオークションに係る事前監視の結果報告](#)

[容量市場 2021年度メインオークションに係る事後監視結果の報告](#)

上段リンク:

<https://www.emsc.meti.go.jp/info/public/pdf/20210927004.pdf>

下段リンク:

<https://www.emsc.meti.go.jp/info/public/pdf/20220113002.pdf>